



八丈島古文書集 第一集

眠っていた古書『園翁交語（えんおうこうご）』『舊昔綜嶼噺話（むかしのいとじまばなし）』を翻刻しました。著者は、江戸で黄八丈の卸問屋を営み、江戸後期を代表する漢学者となった高橋與市です。

八丈島の天津波伝説について記述がある古書は、現在確認できるのは『舊昔綜嶼噺話』だけですが、ここに記されているのは、天津波でただひとり生き残った妊婦が女子を産んだという「女護島伝説」です。この本は『八丈実記』に引用され、ひとり生き残った妊婦が男子を産み、母子交合するという「丹那婆伝説」に変わりました。2012年にこの本を出版後、こうした伝説だけでなく、島内の寺社史なども書き換えられたことが、多くの古書を通してわかってきました。

古老の話を収めた『園翁交語』には、八丈島語集（方言）や亀卜（ト占法）も記されています。

定価1800円（税抜）。ご注文はメールで承ります。